

活動速報はホームページに掲載しています <http://www.garan.ne.jp/ochi>

5月13日 地域後援会総会・村政報告会▶

年に一度の総会および村政報告会を舟石川コミセンにて実施しました。集まって頂いた多くの方々に1年間の議会活動の内容や直近の村行政の状況などについて、報告しました。

また今回は、浅野さとし衆議院議員が駆けつけてくださり、国政報告を含めたご挨拶を頂きました。



VOICE

～ リレーで綴る村民の声 ～



鈴木 博子さん
(南台団地在住)

学童保育に携わって10年余り。1年生から6年生の児童と放課後の数時間を過ごす。

グラウンドで遊んだり、室内での折り紙、工作。ゲームをする子の傍らでちょっと手伝いをしたり教えたり。宿題を見ることもある。

子どもたちは、学校で1日過ごして来るのに、まだまだ余力があり疲れを知らない様子。とにかく元気いっぱいである。たまにはケンカもあり、いつ何が起こるか分からないが、怪我をさせないように注意しながら、子どもたちの成長を見守るのが仕事である。

今は1年生もやっと学童の生活リズムを掴んだところ。夏休みは早朝から1日の保育となる。昨年までの夏休み期間中は、アルバイトとして「卒童生」が手伝いに来てくれた。彼の成長を見ることができたことは、うれしい出来事だった。

さあ、体調を整えて夏休みに備えよう！



編集後記

政府が5月29日に閣議決定した2017年度版の食育白書で、1日の全ての食事を1人で食べている「孤食」の回数が1週間の半分以上に上る人が約15%となり、2011年の調査から約5%増加したそうだ。

核家族化や夫婦共働きの増加など社会環境の変化が関係しているだろうが、幼児期の子どもの食事環境は、身体の成長への影響のみならず、社会性や協調性の欠如、寂しさから情緒不安定になる等の弊害があるとされている。

6月には、東海道新幹線の車内で若者が刃物で乗客3人を殺傷する事件が発生した。事件の背景には加害者の社会からの孤立が指摘されている。

ワーク・ライフ・バランスの実現により、家族団らん、あるいは誰かと一緒に食事をするという何気ない時間が今の時代に求められている。

(す)

わかば通信

東海村議会議員 越智たつや 議会報告



第42号

平成30年7月発行

発行人：越智たつや後援会

日立市幸町2-13-6
(日立製作所労働組合 日立支部内)
TEL 0294(26)0183
FAX 0294(26)0186

日頃のご支援に感謝申し上げます。

6月中旬に大阪北部を中心とした震度6弱の地震が発生し、通学途上の9歳女児の尊い命が奪われる災害となりました。

この悲しみを教訓として、公共施設等の緊急点検の実施はもとより、今一度、東日本大震災の記憶を呼び起こし、3日分の食料や飲料水の確保など、日頃の備えをしっかりと行うことが、何よりも大切ではないでしょうか。

越智辰哉



▲菖蒲の花が咲き誇る「船場まほろばの里公園」

NEWS

～ 東海村行政の身近なニュースをお伝えします ～

東海 スイミングプラザ スライダーがリニューアル



東海スイミングプラザは、1シーズンで約4万人弱の方が利用する施設であり、本村の夏の人気スポットとなっています。

この施設の集客の原動力は、「ウォーターライダー」であり、近隣自治体からの利用者を含めて多くの親子連れで賑わっていますが、近年では老朽化にともなう安全確保が課題となっていました。

そこで、昨年のシーズン終了時から全面改修工事を行い、7月1日からリニューアルしたスライダーが利用可能となりました。これまでの直線3コースから、直線コース(左:長さ約19.4メートル)と曲線コース(右:長さ約37.6メートル)の2コースへと大きく変更となっています。

東海スイミングプラザは、9月上旬まで利用することができますので、この夏はリニューアルしたスライダーをぜひ体験してみてください。



祭 第40回東海まつり
2018 7月29日 イベント 東海駅東大通り
8月12日 花火大会 阿漕ヶ浦公園

病児・病後児保育施設の 設置・管理に関する条例を制定

平成30年6月定例会を6月1日から20日までの会期で開きました。

今議会では、平成31年度より供用開始をめざしている「病児・病後児保育施設」の設置・管理に関する条例の制定など26件の議案が提案され、慎重審議の結果、すべて原案のとおり可決しました。



▲東海病院の敷地内に建設する病児・病後児保育施設

「病児・病後児保育」とは、保護者が勤務などの都合により自ら子どもの看護を行うことが困難なときに、病院・保育所に併設した専用の施設で病気や病気の回復期にある子を一時的に預かるサービスです。

本村では、「子育てしやすい東海村」の実現に向けた施策の一環として、村立東海病院との連携による施設整備の方向性がまとまり、平成31年5月の供用開始に向けて、今秋から建設工事がスタートします。

施設の概要	
利用定員	4人（最大6人まで受入れ可）
対象児童	生後6ヶ月から小学6年生まで
利用方法	事前登録制
対象となる病気	風邪、下痢、インフルエンザ、おたふくかぜ等



子どもの医療費無料化 10月から高校生まで拡大



人口減少対策、定住化促進などの視点から、全国の自治体において、子どもの医療費に対する助成制度が拡大しています。

10月1日から、茨城県の小児医療福祉費制度(マル福)が拡充され、入院医療費が高校3年生まで引き上げされることを受け、村の独自制度(マル特)においても、外来・入院自己負担費等について、高校3年生まで対象範囲を拡大する条例改正案を、今議会において可決しました。

これにより、子どもの医療費無料化が高校卒業まで拡大することとなり、本村における子育て支援の一助となることを期待します。



一般質問 気になる話題

他議員の一般質問における村執行部とのやり取りにおいて、特筆すべき話題について取り上げます。

【新政とうかい・舛井文夫議員】

Q. 東海郵便局の集配業務再開を切望しているが、これまで村執行部はどのような対応をし、業務再開の見込みはどのようなものか？

A. これまで村では、3回にわたり集配機能存続について茨城県中部地区連絡会地区統括局長宛に要望書を提出しているが、「必要経費が多額なことから実施は困難な状況」との回答を得ている。



【公明党・岡崎悟議員】

Q. 駅東第4公園は、村内全域から多くの利用者が集う公園となっているため、駐車スペースの確保とトイレを整備すべきではないか？

A. 主として近隣住民の利用を目的として公園を整備したため、駐車場等を設置する方針ではなかった。しかし、公園の利用者が隣接する店舗のトイレや駐車場を利用している状況を確認している。今後、駐車場やトイレの設置に向けて検討したい。



議員定数/議員報酬の見直し ご意見をお寄せ下さい！

少子高齢化が進展するなか、地方議会の活性化等について、様々な議論が進められています。東海村議会においても、議員定数および議員報酬のあり方について、調査・議論することを目的として、平成28年9月定例会にて特別委員会を設置し、これまで20回にわたる議論を実施してきました。

その過程において、現状の議員定数20名、月額報酬36.7万円のあり方について、特別委員会として右のとおり中間報告をまとめました。

今後は、この内容について意見公募(パブリックコメント)を実施し、寄せられたご意見を踏まえて最終的な意思決定を行う予定です。ぜひ、皆様のご意見をお寄せ下さい。

特別委員会の中間報告

- 【議員定数】2名削減し、18名とする。
- 【議員報酬】月額2万円程度増額する。

※上記は次の一般選挙(平成32年1月予定)から適用する。

